

213 南山大学 経営学部 経営学科 合格

僕が受験を通して感じたことを書きたいと思います。

まず、特に伝えたいことは、基礎力は早いうちに付けておくということです。例えば、英語では単語、文法は夏休み前にマスターしておくべきです。歴史では、単語を覚えるだけでなく、時代の流れ、関連事項は覚えておくべきです。初めのうちは、とにかく繰り返しやってください。基礎が緩いと3学期に絶対後悔します。実際自分も単語をゆっくりやりすぎて、3学期に焦って詰め込みました。すごく後悔しています。皆さんには自分みたいにはなって欲しくないです。

また、学校に残って自習することはやって良かったなと思っています。実際には家のほうが集中できるという人もいました。でも、家に帰ってしまうとなんだかんだ余計な事をしてしまったり、休憩しすぎてしまったりと勉強時間が短くなってしまう人が多かったように感じています。学校に残れば、自分を誘惑してくるものは一切ありません。そして、周りには勉強している人が沢山います。そういった人を見るだけでも、自分にとって刺激になる上に、家で勉強するのが苦手な人にとっては、邪魔になるものが無いのですごく集中できるのではないかと思います。

そして最後に、楽な道なんて選ばないでください。

「当てられるのが怖いから。」「間違えるのが恥ずかしいから。」「めんどくさいから。」そんな理由で補習を休んだり、特別講座を取らなかったりする人もいました。本当に少しだけ我慢してみてください。その少しだけの我慢が実力アップに繋がったり、自分の進路に繋がったりします。

大変な事の先にきっと最高の結果が待っています。頑張ってください。

214 南山大学 外国語学部 アジア学科 合格

私が大学受験を通して大切だと思ったことについてかきます。

一つ目は継続することです。私は朝学プリントを毎朝欠かさずに行いました。はじめこそ面倒臭いなと思っていましたが、ある程度継続できるようになると、今日もやるぞと思えるようになり、最後まで続けることができました。他にも、土曜講座や特別講座、夏冬の補習も1日も休まずに出席しました。最終下校の時間まで学校に残って勉強しました。私は塾に通っていなかったのですが、学校の補習だけで十分に対策できました。これだけ手厚く様々な対策をして下さる学校は南高ぐらいだと思います。

二つ目は友達存在です。私には仲のいい友達が3人いました。その友達と昼休みや移動教室の少しの時間、帰る時などに、世界史や英単語の問題を出し合っていました。1人でするよりもより記憶に残るし、何より楽しく勉強する事が出来ました。また、辛い時も皆で支え合って乗り越えることが出来ました。

最後は自分の気持ちの持ち方です。頑張るのもダラけてしまうのも自分次第です。1年後後悔しないように、今は辛くても1分でも1秒でも多く勉強して、自信を持って試験に挑めるようにして下さい。

家族や先生方、友達など、様々な人が支えてくれ、応援してくれます。沢山のの人に感謝の気持ちを忘れず、何より自分自身のためにこの受験を乗り越えてください。

頑張った分だけ、きっと成果は出ます。応援しています。

215 愛知医科大学 看護学部 合格

まず、受験が始まって塾に行くべきか迷うと思います。塾に行けば対策もしてくれて、自習室も確保できるしメリットも多いです。受験中も冬期講習などに行こうか悩みましたが、親に金銭面で負担を増

やすのは気が引けました。塾に行っても合格できない人はいますし、私は塾に行かずに合格できました。自分の努力で賄えますよ。頑張ってください。

受験で英語の特別講座は本当に受けて良かったと思います。文法を中心にやったのですが、私大入試の英語では文法問題は全問正解でいきたいぐらいです。そのためには、文法書一冊を隅々まで覚えるのは必須になります。特別講座では行くたびに気が引き締まるし相談や受験の話も聞けるので精神的にも助かりました。

私大の看護で早く知っておきたかったことがあります。私大入試の出題範囲は「生物基礎」となっている大学がほとんどですが、実際は「生物」の範囲からも出ます。教科書に載っていない内容が出題されることもあります。高いレベルの大学を目指すのなら尚更です。「生物基礎」は出来て当たり前で、「生物」のところで差がつきます。私は資料集の「生物」と書いてあるところもやっていました。もちろん、教科書も実験の手順や臓器の仕組みなど細かいところまで完璧にして本番に臨んでください。

私たちの学年はコロナで校外模試がすべて校内模試となりました。1月の共通テストを受ける前に12月入試のある大学を受験したことで、本番当日にすべき行動が明確に分かりました。特に女子のお手洗いがかなり混む（30分程度）ことなど、知れて良かったです。結果は不合格だったのですが、この時に「生物」の範囲が重要である事に気づくことが出来て第一志望校に合格しました。いい経験だったと思います。

看護の国語は敬語や故事成語、ことわざ、四字熟語、慣用句などが出題されることが多いです。早めに志望校の過去問を見てみてください。大学ごとでかなり傾向が異なります。勉強すれば簡単に取れる問題です。私は便覧に国語常識の本を追加して勉強しました。

これからの努力が自分の最終学歴になります。一步ずつ目の前の事からやっていけば大丈夫。

216 愛知淑徳大学 交流文化学部 交流文化学科 国際交流・観光専攻 合格

私が受験を通して大切だと感じたことを書きたいと思います。

1つ目は、得意科目を早めに見つけることです。得意科目があるとテストや模試で自信に繋がり、受験でのモチベーションをあげることが出来ると思います。

2つ目は、朝学の時間を大切に使うことです。私は早く起きるのは苦手でしたが、朝学に参加することで朝型の生活に変えることができました。そしてなによりも朝学に参加すると良い点は、勉強時間を増やすことが出来るということです。家だと朝早く起きて勉強をしようとしてもなかなか集中できなかったけれど、学校だとまわりのみんなも頑張っているし、自分も頑張ろうとやる気をあげることができました。

3つ目は、絶対に諦めないことです。これはよく言われることだし、皆さんもたくさん聞いてきたことだと思うけど、やっぱり1番大事なことのだと受験を通して感じました。

私は第1志望の判定がE判定ばかりでした。秋の模試でも判定は良くなく、本当に自分は合格できるのかとずっと不安でした。しかし、最後まで諦めずに勉強してきたから、第1志望の大学に合格することができたのだと思います。

これを読んで、後輩の皆さんに少しでもプラスになったら嬉しいです。皆さんも悔いが残らないよう、最後まで諦めずに頑張ってください。応援しています。

217 名古屋文理大学 健康生活学部 フードビジネス学科 合格

私が受験で大事だと思ったことを2つ紹介します。

まず1つ目は、朝の学習です。私は高1の時からほぼ毎日、7時半までに登校し、廊下やブラウジング室で自習をしていました。朝の校舎はとても静かで、勉強に集中できます。朝早く起きて学校に行くのは大変でした。でも、同じように廊下で勉強している、話したことも無い他学年の子と勝手にひとりで来る時間を競ってみたり、廊下の壁に書いてある先輩方の落書きに励ましてもらったりして、続けることが出来ました。でもひとつだけ、注意することがあります。それは夏場によくいる蚊です。特に本館1階の廊下には結構います。なので、その場所で勉強しようと思ったら、虫除けスプレーを持っていくことをオススメします。

2つ目は、とにかく自分を褒めることです。毎日勉強お疲れ様です。でも、今日は全然集中できなかった、あの子は1日10時間だったのに私はちょっとしかできなかった…とネガティブになってしまう日もあると思います。私も毎日勉強の日々が嫌で、3食のご飯しか1日の楽しみがなくて、「受験生やめたい」と口癖のように言って親を困らせていました。ネガティブになるのは受験生あるあるです。できない自分を責めてしまうと、メンタルがやられて勉強どころではなくなってしまいます。受験は、いかにメンタルを安定させ、他人と比べず、自分のペースを保てるかだと思います。なので、できなかった事ではなく、今日の自分ができた事に目を向けてください。今日は朝起きられたし学校にも行けた、怖い先生の授業でもきちんと受け答えできたなどなど、なんでもいいので自分を褒めてください。もし、自分ではどうにもならないと思った時には、先生に相談しましょう。一宮南高校には、生徒に質問されたり頼られたりすると、嬉しそうな顔をする先生が沢山います。先生方は皆さんの味方です。沢山頼って、受験を乗り越えていってください。応援しています。

218 岐阜大学 教育学部 学校教育教員養成課程 社会科教育講座 合格

私が、受験勉強を通してやってきて良かったことと、後悔したことについて受験生に伝えたいと思います。

私がやって来てよかったと思うことは、定期考査や模試を用いた自己分析です。定期考査は1、2年生で学んだことの復習が主なもので、それらの熟練度を測り理解度や応用力を確認するものであり、貴重な復習の機会なので自分の弱点を洗い出すことに活用してください。模試も同じように間違えた問題などを復習することは当たり前ですが、その上で志望校の判定が出る模試では自分のいる立ち位置をしっかりと確認してください。自分の全国単位での実力を知ること、やる気の種にも自信になるので必ず知ってください。ですが、決して判定には流されないでください。判定はただの模試の結果であり、本番でもなんでもありません。ただの1回の結果で諦めたりするのはもったいないです。共通テストを終えるまでは絶対に志望校に背を向けないでください。

私の後悔としては気を張りすぎたということです。受験生となって夏休みの前までとてもやる気に満ち学習してきました。しかしながら、夏の模試で伸び悩み、自分のやっていることは本当に意味があったのかわからなくなり、やる気が全くでなくなる時もありました。やる気に波があると成績にも影響が出て、最悪の場合本番直前にこの状況となってしまうえば今までの努力が水の泡となってしまいます。私自身もこの状況に陥りそうになりました。しかし私の担任の先生の「夢を持て」という言葉を胸に自分の夢のために最後まで努力することができました。

あくまでこれらは私の体験であり必ずしも全員に合ったアドバイスとはならないと思います。ですが必ず覚えて欲しいことは「夢を持ち、最後まで諦めない」この一つだけです。

受験生の皆さんが夢を叶えられることを祈っています。

219 愛知県立大学 教育福祉学部 教育発達学科 保育幼児教育コース 合格

これから文系国公立を目指す皆さんへ、私が受験を終えて大切だと思ったことを伝えます。

1つ目は、3年生になってから本格的に勉強を始める人は特にですが、夏休みまではしっかりと基礎を定着させるということです。まず英語は文法、英単語、国語は古文単語、文法、漢文句形などを完璧にすることが必要です。この2つは毎日やるのと同時に、ある程度の基礎が整ったら短いものからでいいので文章になれていくのも大切です。歴史、政経、理科基礎は暗記系ですが、直前に始めても絶対に間に合わないので日頃から何回もやって記憶を定着させるのが効果的です。文系は数学が苦手な人も多いと思いますが、まずは教科書に載っている例題からやっていくのがおすすめです。わからないところがあったら、周りの友達や先生に頼りましょう。国、英を中心に他の教科をバランスよくやるのが大切です。

2つ目は上手に息抜きをすることです。私の場合はときどき親にショッピングやカフェに連れて行ってもらっていました。例えば1週間のどこか1日勉強を早めに切り上げてゆっくりするという方法でもそっちの方が集中できるというならそれでもいいと思います。どうしても勉強時間にとらわれてしまいがちですが、集中できていない10時間よりも効率的に集中してやった7時間のほうが断然いいです。なので、自分流の息抜き方法を見つけて効率的に勉強を進めていきましょう。そして、睡眠時間を削るやり方はあまりおすすめできません。毎日6～7時間は確保しましょう。

3つ目は、最後まで諦めないということです。私は1、2年生の間は土日は部活で課題を終わらせるのもやっとの状態で、勉強は定期考査の1週間前しかやっていませんでした。2年の春休みからは周りに流されて受験勉強を始めましたが、最後の模試までなかなかいい結果を出すことはできず、志望校の判定もE判定、良くてD判定でした。共通テストはボーダーラインに達していなくてギリギリの状態でした。それでも私が合格できたのは最後まで諦めずに頑張ることができたこと、そして同じように最後まで一緒に頑張った友達の存在が大きいです。

「現役生は当日まで伸びる」というのは本当のことで、私も最後の最後に伸びました。受験生としての1年間は大変なことが多いと思いますが頑張ってください。応援しています。

220 名古屋市立大学 看護学部 合格

私が大学受験を通して、受験勉強において大切だと思うことを3つ書きたいと思います。

1つ目に、モチベーションを保つことです。高校3年生になって周りに「受験生」と言われるようになると、最初のほうは勉強に対するモチベーションは高いと思います。しかし、私自身、南高祭などのイベントがあり、モチベーションが下がった時期がありました。私がその時大切にしていたことは、自分を責めるのではなく、誰にでもモチベーションが下がることはあると考えることです。そのような状況だからこそ、今までの自分を見直し、これからの目標を立てるようにしていました。

2つ目に、学校の先生や親などの周りの大人に頼ることです。私は、塾に通っていなかったのも、勉強方針や赤本を解く時期、メンタル面で悩むことが多かったです。勉強のこと以外でも、どんなことでも誰かに話すことでスッキリします。先生方も忙しそうだし申し訳ないなと思うこともあると思いますが、一宮南高校の先生はみんな優しいので、辛くなったら是非相談してみてください。

3つ目に、よく言われることですが最後まで諦めないことです。高3の模試は、共通テスト模試と記

述模試がセットになって行われます。私は記述が苦手だったのでいつも総合的な判定はCかDでした。また、共通テスト本番では志望校のボーダーの点数しかとれず、C判定で二次試験にのぞみました。そこで皆さんに伝えたいのは、共通テストが終わって、自己採点の判定が悪くても、志望校を変えずに死ぬ気でやれば受かるということです。私自身、志望校を下げたほうがいいと多くの人に言われました。しかし、名古屋市立大学にどうしてもいきなかったため、不安な気持ちもありましたが諦めませんでした。

最後に、看護を目指す人、名古屋市立大学を目指す人に伝えたいことを書かせてもらいます。私大も国公立も看護は面接があるところが多いです。私はグループディスカッションでしたが、人前で話すことに慣れておくことが大切だと思います。高校1年生のうちからたくさんの人と話して、発表やプレゼンの機会があれば積極的に参加してほしいです。どんなときでも笑顔で人の話を聞くことと、相槌をうち共感することを大切にしてください。名市大については、英語が難しいので、最低でも過去問6年分(前期)、3年分(後期)は解いてみて、時間配分を決めておくことが大切だと思います。英語長文3つと英作文があり、120分あっても解き終わるのは時間ギリギリになってしまうので、速読力を身につけておくとう利だと思います。英語の記述模試で偏差値50なくて、定期テストでも上のクラスの最下位レベルの英語が苦手な私でも、最後まで諦めず勉強し続けたら合格できたので、自分を信じて本気でやれば大丈夫です。応援しています。

221 三重大学 人文学部 法律経済学科 合格

受験で一番大切だったことは、メンタルです。メンタルさえしっかりしてれば本当になんとかあります。

よく先生にも言われることのある「本番何があるかわからないよ」という話、自分は正直テキトーに聞き流していました。でも、私立受験一週間前に両親がコロナに感染して、自宅隔離。もちろん、学校にはいけないので授業は受けられません。家のことも自分一人でやらなければならず、勉強する時間もその前に比べて明らかに減りました。幸い受験する事は出来ました。こんな状況からでも合格できます。だからといってサボっていいわけではありませんが…。合格しようという気持ちは何よりも大切です。絶対に諦めるのはダメです。

模試の点数が上がってきたり、本番の共通テストの点数が良かったりすると、上のレベルの大学を勧められることがあります。先生に勧められたからこっちにしようとかは本当にやめた方がいいです。自分の行きたい大学があるならそれをしっかり伝えてください。先生は親身になって話を聞いてくださるので、後悔しない選択をしましょう。

模試やテストで結果がでず、落ち込むことは誰でもあります。落ち込むのは自分に期待している証拠です。期待しなければ落ち込むことは絶対にあり得ません。なので、落ち込んでいるうちはまだ、立ち直れるはずで。落ち込みもしなくなったらもうおしまいです。

最後に、「海を見る自由」の話を知っているでしょうか。これは東日本大震災で卒業式が中止になった立教新座高校の校長先生が3年生に向けて書いたもので、大学に行く理由の一つの答えが書いてあります。勉強の間にもし良かったらネットで調べて読んでみて下さい。たぶん5分くらいで読めます。

この1年はとても辛いですが、頑張ってください。大丈夫です。なんとかなります。皆さんが合格できるよう応援しています。

222 岐阜大学 地域科学部 合格

国公立大学を目指す、特に文系の人に向けて、僕が受験を通じて体験したことや感じたことを紹介したいと思います。

一つ目は英語の勉強を早いうちに進めておくことが大切だということです。英語は共通テストでも二次試験でも中心となる教科なので避けては通れません。僕のような英語が苦手な人はもちろんですが、得意な人以外は1番最初に取り掛かるべきだと思います。英語は伸びるまで時間がかかりますが、伸びてしまえば安定する科目なので早めにやらないと後悔するでしょう。

二つ目はバランスよく勉強することが重要だということです。僕の周りには志望校に必要な科目のみに絞っている人がそこそこいました。その選択が間違っているとは僕は思いませんが、第一志望に落ちたら浪人する覚悟があるという人以外は共通テストの科目全てをしっかりと取り組みましょう。そうすることで出願可能な選択肢の幅が広がるので、今年の共通テストのように突然の難化への対応が可能になると思います。

三つ目は、1人でも勉強を頑張るのが重要だということです。よく受験は団体戦と言われるのですが、あくまでそれは苦しい時にみんなと支え合って頑張るという意味であり、周りと同じように勉強に取り組めばよいわけではないということです。みんなが補習を受けるからとりあえず自分も受けるといったような、周りに流されてやるのはいけません。補習を取る、取らないは合否に関係ありません。1人でも頑張れる人は取らなくてもいいと思います。1人だとサボってしまう人は、補習を取ることで勉強の時間を確保できます。しかし、参加するだけでは意味がないので集中して受けましょう。

最後に伝えたいことは、後悔しないように頑張りたいということです。未来の自分を変えるのは今の自分の努力なので、人生のうちのたったの一年くらいはひたむきに努力し続けてください。

223 岐阜県立看護大学 看護学部 合格

私が最初に強く伝えたいことは、最後まで諦めないことです。

私は、共通テスト直前の模試まで第一志望の判定がE判定でした。模試を受ける度、成績は下がっていく一方だったのですが、当日A判定まで上げることができ、合格することが出来ました。今回はこの経験をもとにアドバイスを書きたいと思います。

一つ目は、見方を変えることです。例えば、模試の結果が悪くて落ち込むのではなく、結果が悪い原因はどこにあるのか、自分の苦手な分野はどこなのかなど、これからの勉強に役立たせるための勉強材料として見ることです。受験期は特に何度も心が折れ、常に不安や焦りとの戦いが続きます。精神的にも辛い時期なため、勉強の結果に対して前向きに捉えて、心の負担を少しでも軽くすることが大切だと思います。

二つ目は、今までやってきた模試の解き直しです。私は3年生になって初めて模試の解き直しに取り掛かりました。復習をされていて、もっと早くにやればよかったなと後悔しています。特に政治経済、理科基礎、国語、数学を中心に解き直しをしました。そして、間違えた問題を全てノートに書きだして、自分だけの間違い&苦手ノートを作りました。これが本当に効果抜群で、あやふやな知識の整理や自分がよく間違える問題について知ることができました。このノートは本番に見直す用としても使いました。それぐらい価値のあるものになります。ぜひ作ってほしいです。

三つ目は、自分に合った生活リズムを作ることです。夏季休業中や冬季休業中の学校が無い時が一番だらけがちですが、必ず7～8時間寝て、起きることを徹底してください。寝すぎると体が重く、だるい感じがして勉強へのモチベーションが下がってしまうので注意です。それを防ぐためにも生活リズム

卒業生からの贈り物 41 回生【令和4年（2022年）3月卒業】

の管理は欠かせません。私は、休業中は、朝の早起きが苦手で、夜型だったので24時まで勉強して8時には起きるというルーティーンを作っていました。そのおかげで、体調を崩すことなく、勉強に集中できました。

四つ目は、補習を大事にすることです。自分が一番、良かったと思う補習は、冬休みにある共通テストの問題演習です。学校で時間を計って問題を解き、家で間違えた問題を見直す。このルーティーンを続けていくうちに段々点数が伸びていきました。点数の伸びを実感すると勉強のやる気にもつながり、自信にもなりました。時には、補習が辛くてだるいなと思うかもしれませんが、最後まで参加した方が自分のためです。

そして、最後に今、中々結果が出ず不安や焦りを感じている人へ。ずっとE判定でも、今はまだ学力が伸びている途中なのだと思います。目に見える結果がすべてではありません。自分が自覚できていないところで、伸びている学力があります。それが本番までに発揮できるように諦めず頑張ることが大切です。

最後まで悔いのないように頑張れ。

224 愛知教育大学 学校教員養成課程 特別支援教育専攻 合格

私が受験を終えて、大切だと感じた事と後悔した事を書きたいと思います。

1つ目は、何事も最後までやりきる事です。私は、陸上競技部に所属しており、総体で県大会まで残っていたため、周りの人より受験勉強を本格化する時期は遅かったです。しかし、私は最後まで本気で練習に取り組んだことで、最後の大会で自己ベストを出し、納得のいく結果を残せたと思います。そこで、部活動をしている受験生に伝えたい事は、始めから焦らない事です。受験生の春は、多くの人が何をしたいかわからず、焦っていると思います。その中で部活動を頑張っている人は時間の余裕の無さに、更に追い込まれていると思います。ですが、私の経験上部活をやりきった人は、受験においても第1志望を掴み取っています。こうした経験を踏まえて、皆さんには地道に目の前の事を1つずつこなしていってほしいです。

2つ目は、気を緩めない事です。私は高2の頃から第1志望校にA判定がついていたため、高3の南高祭の時期に少し気が緩んでしまい、最後の全統模試でD判定がついてしまいました。共通テスト前最後の模試で悪い判定がでるのは、とても辛かったです。この経験から、皆さんには早いうちから良い判定だからと言って気を緩めないでほしいと思います。模試がA判定だからと言って、必ず合格する訳ではありません。自分の中で高い目標を掲げて、1日1日を大切に過ごして下さい。

3つ目は、私の後悔したことについて書きたいと思います。それは、夏のうちに英単語と文法をマスター出来なかったことです。秋冬になれば、必然的に本番さながらの文章に触れる機会が多くなります。私は単語力や文法力が身につけていなかったため、共通テスト英語を仕上げるのに、周りの人より時間がかかりました。皆さんには私と同じ思いをしてほしくありません。特に文系は、英語はできて当たり前だと思うので、早いうちから力を入れて勉強してほしいです。

最後に、受験生となった皆さんには自分に自信を持ってほしいです。これから、たくさん辛い事もあると思いますが、自分を信じて、壁を乗り越えて行ってください。応援しています。

225 三重県立看護大学 看護学部 合格

私が受験を終えて大切だと思ったことを書きます。

一つ目は、体調管理です。私は、自分に無理をかけて体調を崩し、学校を長い間休むことがありました。学校で普通に過ごすことができるまでにも時間がかかり、受験勉強がきちんとできるようになったのは二学期後半からでした。普通に勉強できることがとてもうれしいことだと感じました。ですから、万全の状態で試験を受けることはできていないので勉強方法は他の人を参考にしてください。受験生になると毎日勉強しなくてはならないと夜遅くまで勉強する人が増えてくると思います。しかし、疲れているときはしっかりと睡眠は取るといいです。不安なことや悩みがあれば、家族や先生など周りの人に助けを求めるといいです。特に、同じ受験生である友達と楽しく過ごすことはとても元気になれます。

二つ目は、継続して努力をすることです。私は毎日各教科の暗記系は欠かさずやっていました。すぐに忘れてしまうので一日の間に何度も見て覚ええました。体調がよくないときは、家に帰ってから何もできないこともあるので、ただリスニングを聞き流すことをしたり壁に張った単語や公式を書いた付箋を見たり、無理せずできることを少しでもやって勉強を継続することを意識しました。また、苦手な分野は何度も反復して解けるようにしました。授業や補習は自分のできる範囲でしっかり受けておくと、きっと役に立ちます。自分に合う勉強方法で楽しく勉強できればいいと思います。

私は、合格したと分かったとき、合格するとは思っていなかったのととても驚いたのと同時に毎日不安ではあったけれど諦めなくてよかったと思いました。ですから、受験生の皆さんも不安に負けずに頑張ってください。また、体調に気を付けて自分のこと大切にしてください。応援しています。

226 岐阜大学 工学部 機械工学科 機械コース 合格

3年生になって1番始めにすべきことは基礎を身につけることだと思った。英語であれば、単語と文法。国語であれば、古文単語と漢文の句形。漢文は句形を覚えれば一気に文が読めるようになった。

自分は塾に通っていなかったもので、早朝補習も業後補習も全て受けた。その中で受けて良かったとより実感できたのが、数学と物理だ。数学は補習でたくさん問題に触れていくことでだんだんと数学力が身についていった。最初のほうは難しくてまったく問題が解けないこともあったけれど、自分は1次試験前あたりからようやく伸び始めたと思う。また、物理で力を身につけていくためには、とにかく問題をたくさん解くことだと思った。何度も何度も問題を解いていくうちに、自分も周りの友達も最初の方はつまづいていたような問題でも当たり前のようにスラスラと解けるようになっていた。だから、物理選択の人は絶対に物理を補習でとるべきだと思う。

自分は国公立の試験で前期も後期もどちらも第1志望の大学を受けた。共通テストの結果による判定は安心して受けられるほど良いものではなかった。前期試験前は過去問を9年分解き、本番に臨んだ。手応えはあまりなく、合否がわかるまで後期試験に向けて勉強しなければならなかった。前期試験で大学受験が終わる人がほとんどだったので、周りの友達が遊んでいる中、勉強するのは本当に辛かった。そして、前期試験が不合格と知った時、さらに精神にダメージを負った。第1志望の大学に落ちたことも辛かったが、何より大学受験が終わらないことが1番辛かった。そこからは勉強をしないといけないとわかっていても、あまり勉強が出来なくなってしまった。また、1番身近で一緒に頑張ってきた友達が後期試験を諦めたことを知り、自分も諦めかけたこともあった。しかし、後期試験前日に学校で補習があり、一緒に後期試験を頑張る友達と久しぶりに顔を合わせて最後までやり切ろうという気持ちが芽生え、結果として後期試験で合格することができた。どんなに辛くても諦めないことが本当に大事だと思った。自分は後期試験で合格できたけれど、前期試験で合格できるように頑張りたい。

227 岐阜大学 工学部 機械工学科 機械コース 合格

僕が受験生の1年間を過ごして大事だと思ったことは3つです。

1つ目は大学や学科についてよく調べることです。やりたいことや行きたい大学がはっきりしている人はそれについて調べると思いますが、はっきりしていない人も、その学科でどういうことを学んでどんな職に就くのか、また同じ学部でも大学によって違うと思うのでよく調べましょう。最終的には自分の志望大学学科を決めなければならないので、後悔しないようによく調べておくべきだと思います。

2つ目は時間稼ぎの勉強をしないということです。これは具体的な勉強についてで、僕もやりがちだったのですが、苦手な科目を勉強するより得意な科目の解ける問題をやる方が楽なので、そればかりやっていました。もちろんそれも大事ですが、自分のやるべきことをしっかりやりましょう。3年生後半になってくるとある程度実力がついてきて、何をやればいいのか分からなくなることがあると思います。必要なことは人それぞれなので、闇雲にやるより先生に相談しましょう。頭のいい友達と同じ勉強をすればいいという訳ではありません。

3つ目はなるべくミスをしないということです。僕は名城の数学の解答欄の大問2、3を逆に記入していました。結果合格はしていましたが、個人的に絶対に受かっておきたい大学だったので、落ちたと思ってメンタルがやられました。試験がマークではなく記述の場合、大学によって解答用紙は違うので注意してください。もちろんマークミスも。ここまでのミスをする人は多くは無いと思いますが、数学の計算ミスとかケアレスミスはよくあると思います。そこで合否が分かれると思うので、自分のしがちなミスを知って対策を立てておくといいと思います。

最後に、本当にきついときもあると思うけれどちゃんと頑張っていればなんだかんだ大丈夫だったりするので、絶対に最後まで諦めないでください。

228 東京都立大学 システムデザイン学部 機械システム工学科 合格

私は1、2年生の頃の定期テストや模試は勉強はしていたものの、下から数えた方が早いくらいの順位ばかり取っていました。また3年生になっても模試でE判定ばかり取っていましたが諦めずに挑戦し、第一志望に合格できました。そんな私の経験を踏まえて、大切だったと思う点を伝えていこうと思います。

一つ目は、早めに志望校を決めることです。ここで一番大事なのは、妥協しないことです。私自身、志望校を決めた段階では国公立に行けるか微妙な学力でした。しかし、一年間大きな目標に向かって頑張りたいと思い、高い偏差値の志望校に決めました。高い目標を決めることで、一年間気が緩むことなく頑張りが続けたことができたと思います。

二つ目は、一緒に頑張れる仲間を見つけることです。私はその仲間と、3年生が始まった日から毎朝職員室前の机で勉強をしていました。朝の50分は前日やったことの復習をメインにやり、勉強効率を高めることができたのと同時に、朝型の生活リズムに整えることができました。また、苦手な早起きを頑張りと、毎朝続けられたことが、受験の時の自信にも繋がりました。他にも、勉強記録をつけられるアプリで繋がって、学校外でもお互いを高めることができました。

三つ目は、春休みに勉強習慣を作れたことです。多くの人は、部活を引退するゴールデンウィークから始めようと考えているかもしれませんが、私はそれだと気づいたら夏休みになっていると思ったので、春休みから部活があっても最低4時間は勉強すると決めて取り組みました。また、部活のメンバーと英単語のテストをしたりして、受験への意識を高めていきました。そのおかげで、よいスタートダッシュをきれ、疲れていても勉強ができる体力がつけました。

私が唯一後悔しているのは、1、2年生の復習を3年生になるまでに終わられなかったことです。今1、2年生の人は定期テストを真剣に取り組み、また定期的にその範囲を復習して定着させるだけで3年生になってからの負担が大きく変わるので、小さな積み重ねをすることを頑張ってください。

最後に、共通テストを終えて志望校を変更する人は少なくありません。志望校にチャレンジするか、志望校を下げてしっかり合格を狙いに行くかは人それぞれですが、受験生活の締めくくりとして、後悔しない選択をしてほしいです。受験を終えて、全力でやり切れたと心の底から言えるような受験ができるように頑張ってください。

229 金沢大学 医薬保健学域 保健学類 診療放射線技術学専攻 合格

受験を終えた僕が勉強面で大切だと思うことは、聞きなれているかもしれませんが基礎を早く完成させておくことです。まずこれができていないと、大きく周りの人に遅れをとりかねません。夏休みが終わるまでには最低身につけておきたいところです。この段階で共通テストの過去問題を確認としてやっておくと、本番の問題形式にも慣れていいでしょう。ですが、あくまでも確認です。共通テストによく出されるところだけをやるのではなく全てをやっておくことが重要です。また個人的にやっておいてよかったことは学校で習わない範囲の勉強です。具体的には数学の合同式《mod》などです。共通テストでは出ませんが二次試験では普通に出てきますし、その分野の理解が深まります。

僕は勉学に励むために、2年の夏の大会には自分がでないことを条件に、自分のできる限りチームメイト、後輩をサポートし退部しました。補習に関しては、やはり理系から名城大学を受ける人が多いのでどうしても名城対策が多くなり、行かずに自分の志望校の過去問をやったほうがいいと思いながら受けていたこともありました。医療系志望の人は必ず感じると思います。確かに自分のやりたい勉強のために退部する、補習を休むことは受験という観点から見たとき正しいのかもしれませんが、今こうして終えてみると辛かった受験期間であるにもかかわらず、もう一度みんなと勉強したいなど思うのは、恐らくみんなと一緒に乗り越えてきた部活や補習があったからではないかと思っています。皆さんは受験生以前に高校生、南高生です。受験の話をされる機会が増え受験のことで頭がいっぱいであるとは思いますが、やはり何事も楽しんでいる人は強いです。僕たちにはもう戻れない南高での生活や受験期間を全力で仲間と一緒に楽しみ、受験に勝ちきってほしいと思います。